

# あさかわ

議会だより

No. 124

令和3年8月4日

福島県浅川町議会

## わたしたちの暑さ対策

町民プールで泳ぐ子どもたち



国保税決定	2
国保税・介護保険料減免	3
一般会計補正予算・権利の放棄	4
発議・請願	5
一般質問 9人の議員が町政を問う	6
ふるさと写真館	16
町民の声 (岡田愛桜さん)	18

# 国保税を 決定

1 世帯あたり 14万4107円  
1 人あたり 9万4951円

## 基金を崩して増税幅おさえる

**今年度の国保税率を決定する国保税率例改正案は、国保基金から1670万円を取り崩して減税に使い、増税を1世帯当たり755円に、1人当たり3207円に抑えるものでした。**

### 【質疑】

**問** 医療費支出の動向はどうなっているか。

**答** 新型コロナウイルスによる受診控えで1人当たり1400円近く減になっている。

**問** 基金はまだあるのに減税にできなかった理由は何か。

**答** 数年後に県内統一保険料になると保険料が高くなると想定される。今後、急激な高騰にならないよう残りの基金を使いたい。

**問** あといくら基金を取り崩せば減税にできるか。

**答** 500万円入れれば下がったかと思う。

### 【討論】

— 反対討論 —

**上野議員** 国保加入者が納めた国保税の使われなかった分をためた国保基金がまだ3千万円余りある。コロナ禍の中、それを使わず増税にするという本案では、町民に寄り添う姿勢が見えない。

— 賛成討論 —

**水野議員** 基金を取り崩して国保税を少しでも安くしようとする努力は評価すべきだと思う。国保はみんなで支え合って成り立っているのだから、自分の負担をして制度を守っていくべき。

### 【採決】

賛成9人 反対2人で可決しました。

— 国保税本算定年度別対比表 —

区 分		令和2年度	令和3年度	前年対比
医療費分	1世帯当たり現年度課税額	83,101円	80,706円	▲2,395円
	1人当たり現年度課税額	49,860円	49,231円	▲629円
後期高齢者支援金分	1世帯当たり現年度課税額	34,915円	34,043円	▲872円
	1人当たり現年度課税額	20,949円	20,766円	▲183円
介護分	1世帯当たり現年度課税額	25,336円	29,358円	4,022円
	1人当たり現年度課税額	20,935円	24,954円	4,019円
合計	1世帯当たり現年度課税額	143,352円	144,107円	755円
	1人当たり現年度課税額	91,744円	94,951円	3,207円

# 条例改正

## 国保税減免の申請期限延長

国民健康保険税の減免に関する条例の一部改正。

新型コロナウイルス感染症で収入が減少したことによる国保税減免の申請期間を令和4年3月31日まで延長するもの。

した。

※主たる生計維持者が死亡、重篤な傷病を負った世帯に全額免除

※主たる生計維持者の事業収入等が前年比30%以上の減少が見込まれ、各所得要件に該当する世帯に10分の2とする世帯に10分の8減免

【採決】  
全会一致で可決しま

## 介護保険料の減免申請期限延長

介護保険条例の一部を改正する条例。

新型コロナウイルス感染症で収入が減少したことによる介護保険料減免の申請期間を令和4年3月31日まで延長するもの。

【採決】  
全会一致で可決しました。

①主たる生計維持者が死亡又は重篤な傷病の場合。

②主たる生計維持者の収入の減少が見込まれるに、次のいずれにも該当す

る場合。

ア、収入の減少額が前年の10分の3以上。

イ、前年所得の合計が400万円以下。

【減免の場合】

①の場合は保険料全額。

②の場合は、前年の所得に応じて決定。

# 専決

## ワクチン接種に2821万円追加

令和3年度一般会計

補正予算

【主な歳出】

○コロナワクチン集団接種会場設置業務委託料

1000万円

○コロナワクチン接種医師等委託料

386万円

○会場警備委託料

200万円

○集団接種送迎業務委託料

100万円

【採決】

全会一致で承認しました。

# 入約 購契

## あさかわこども園幼稚部送迎バス購入

園児の送迎を安全かつ円滑にするためバス1台を購入するもの。

定員幼児47名、添乗員3名、乗務員1名、4輪駆動。

■取得価格(税込)

1239万円

■契約の相手方

氏名 三菱ふそうトラック・バス株式会社

社東北ふそう白河支店

河支店

ため。

問 今あるマイクロバス1台を廃車にするのか。またオークションで売却する考えはあるのか。

答 廃車を考えているが売却については検討していききたい。

【採決】  
全会一致で可決しました。



ソーシャルディスタンスに配慮

# 質疑

問 三菱ふそうトラックバスと契約する理由は。

答 子供たちの安全・安心を考慮し、ロングボディーの4輪駆動を選定する。これは三菱ふそうトラック1社しか製造販売していない

# 正算 補予

## 低所得の子育て世帯に児童 1人当たり5万円を給付

令和3年度一般会計  
予算に1393万円を  
追加し、総額を31億9  
404万円とするもの。

歳出の主なもの

○子育て世帯生活支援  
特別給付金事業費

550万円

○公共施設等総合管理  
計画改定業務委託料

520万円

○町民プール工事請負  
費

112万円

税者が対象。8月中に  
は支給できると思う。

人数は確定できていな  
いが一応92人と見込ん  
でいる。

**問** 町民プールの工事  
の内容は。

**答** 経年劣化でプール  
サイドがひどい状況に  
なっているの、シー  
トを全て貼り替えて子  
どもの安全を図りたい。

### 【採決】

全会一致で可決しま  
した。

## 公金横領事件に関する債権の放棄

### 【質疑】

平成19年に発生した  
公金横領事件で、その  
後の損害賠償請求裁判  
で債務が確定した元職  
員が令和2年11月に死  
亡した。その後相続人  
全員が相続を放棄した  
ことから、債権を回収  
する見込がないため、  
元職員に対する債権を  
放棄するもの。

**問** 債権者にプラスの  
財産、不動産や動産は  
なかったのか。

**答** 亡き父親名義の土  
地、建物があり、見か  
け上、他の相続人との  
共有扱いになると思わ  
れる。しかし相続財産  
として強制執行しても  
費用がかかるうえ、競  
売したところで共有物  
件は難しいという顧問  
弁護士の見見だった。

**問** これほどの金額を  
放棄するに当たって、  
町長の町民に対する気  
持を聞きたい。

**答** こういう事案はあつ  
てはならない。二度と  
起きないように徹底して  
目を光らせてやってい  
きたい。

### 【採決】

全会一致で可決され  
ました。

**問** 子育て世帯への給  
付金事業の説明を。

**答** 新型コロナの中、  
低所得者の子育て世帯  
に児童1人当たり5万  
円を給付する。全額国  
から支払われる。令和  
3年4月分の児童手当  
を受給し、住民税非課

### 【質疑】



平成19年に発生した  
公金横領事件で、その  
後の損害賠償請求裁判  
で債務が確定した元職  
員が令和2年11月に死  
亡した。その後相続人  
全員が相続を放棄した  
ことから、債権を回収  
する見込がないため、  
元職員に対する債権を  
放棄するもの。

**問** 債権者死亡から権  
利放棄を決めるまでの  
経過は。

**答** 死亡後、顧問弁護  
士と方針等を打ち合わ  
せし。財産等確認すべ  
き点のアドバイスを受  
けて調査をした。5月  
に再度相談し、今回の  
提案に至った。

## 議員議発

原発処理水の海洋放出方針決定の撤回を求める意見書

### 発議第2号

提出者 上野信直

### 〔内容〕

政府は、4月13日に、原発事故により増え続けている、ALPS処理水の、海洋放出の方針を正式決定した。これは、福島県民の、

復興へ向けた懸命な努力を無にするもので、

政府に強く抗議し、決定の撤回を求める意見書の提出を求めるもの。

### 〔採決〕

全会一致で可決しました。

## 請願

地方財政の充実、強化を求める請願書

請願者

日本労働組合総連合会  
福島県連合会石川地区連合議長

紹介議員 金成英起

### 〔内容〕

新型コロナウイルスにより地方自治体にはワクチン接種体制の構築や、新

しい生活様式への対応などが求められている。

このためには地方財政の充実強化が不可欠となるため、政府に財源確保を求める意見書の提出を求めるもの。

### 〔採決〕

全会一致で採択しました。

## 請願

『被災児童生徒就学支援等事業』の継続を求める請願書

請願者

福島県教職員組合石川支部支部長

遠藤真一

紹介議員 金成英起

### 〔内容〕

東日本大震災によって、経済的に困窮している子供たちの就学を

保障するため、令和4年度以降も、国が支援

する就学支援事業の継続を政府に要望する意見書の提出を求めるもの。

### 〔採決〕

全会一致で採択しました。

## 請願

コロナ禍による米危機の改善を求める請願書

請願者

福島県南農民組合代表者 大竹利男

紹介議員 角田 勝

### 〔内容〕

コロナ禍における米の需要「消失」により、米の市場価格は大暴落した。そのため、政府

に、需要の減少分の在庫米を買い取るなどして、米価下落に歯止め

をかけることを求める意見書の提出を求めるもの。

### 〔採決〕

賛成5人、反対6人で不採択となりました。

## 6月定例会採決一覧

全21議案中18議案は全会一致で可決しました

○賛成

×反対

議長は採決に加わらない

議案名	菅野朝興	兼子長一	会田哲男	木田治喜	岡部宗寿	渡辺幸雄	金成英起	須藤浩二	上野信直	角田勝	水野秀一	円谷忠吉	議決結果 (賛成：反対)
浅川町国保条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	—	可決(9：2)
令和3年度浅川町国保特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	—	可決(9：2)
新型コロナウイルス禍による米危機の改善を求める請願	○	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	—	不採択(5：6)

## 9人の議員が質問

(通告順)

# 町政を問う

### 1 菅野朝興議員

- (1) コロナの家庭内感染の拡大防止の呼びかけを
- (2) 花火の里ニュータウンの利活用と周知を
- (3) 町民グラウンドの備品の見直しを
- (4) 旧小学校の跡地で、町内の活性化を
- (5) お米の地産地消推進を

### 2 須藤浩二議員

- (1) 新型コロナウイルス対応について
- (2) 町施設の更新と財政について

### 3 兼子長一議員

- (1) 令和3年産米価の下落見込みに対する対策について
- (2) 役場行政組織の見直しについて

### 4 岡部宗寿議員

- (1) 城山を中心に、地元にある観光資源を利活用できないかについて
- (2) こども園のT字路の横断歩道について

### 5 会田哲男議員

- (1) 松野入字内畑地内町道の防護柵の改修と水路の布設替えについて
- (2) 県道埴泉崎線の風口前十字路の見通しを良くすることについて

### 6 木田治喜議員

- (1) 町活性化推進に伴う職員研修（スキルアップ）について
- (2) 一般社団法人元気あさかわ夢工房の高齢者支援策としての役割について
- (3) 行政デジタル化及び組織改編について

### 7 角田勝議員

- (1) 農家へのコロナ被害対策を具体化し、支援をすべき
- (2) 旧大平病院跡地への地域密着型グループホーム設置促進をはかり福祉充実を
- (3) 滝ノ台団地の販売促進と若者定住化住宅の建設で人口増をはかるべき
- (4) 町内の公共施設の洋式トイレ化を急ぐべき
- (5) 町にある名木や自然、旧跡、建造物（狛犬など）そして即身仏等を生かして町の活性化をはかること
- (6) 山小、里小の跡を活用する為のプロジェクト事業を立上げ検討すべき

### 8 上野信直議員

- (1) 64歳以下のコロナワクチン接種の時期と優先順位を伺う
- (2) 入札の最低制限価格制度を見直して税金を大事に有効に使うべき
- (3) 県統一保険料化で浅川町民の国保税は増税にならないのか
- (4) 「町直営の包括支援センター設立」計画の詳細について伺う
- (5) 新型コロナに対する町の事業者支援対策の実績を伺う
- (6) 私的な情報誌を行政組織を使って町民に配布した理由は何か

### 9 金成英起議員

- (1) 県道浅川古殿線の道路改良対策について
- (2) 町道外側線引き直し改修について

一般質問は6月11日に行われ、  
通告した9議員が町長等の考え  
を質しました。傍聴者は3人  
でした。

※一般質問とは  
定例議会において、各議  
員が住民の代表として行政  
全般にわたり町当局の考え  
や疑問をたずねることです。  
また議員にとって政策の  
見直しや政策を提言する重  
要な活動の場です。

# お米の地産地消推進を



菅野朝興議員

## 効果的な取り組みを関係機関と協議する

**問** 現在、コロナの影響で、外食産業に使用する予定のお米が、売れずに残ってしまうという現状がある。

お米の価格も下落しており、大変厳しい状況となっている。近年では、地産地消が叫ばれている。そして、コロナ禍で食べる事に困る方も出てきている。お米を家畜の飼料として売ろうという動きもあるが、お困りの人たちに食べて頂けるように、割安で購入できるように、町で検討してみているか伺う。

**町長** 昨年からのコロナ禍により、米の消費量が減っているため、全国的に集荷業者では在庫を抱えている状況となっている。そのため米の価格は今後も下落が予想され、国、県、町でも助成などにより、非主食用米への転換を推進している。在庫の解消と地産地消の推進を図るため、何か効果的な取り組みができないか、今後も農協など関係機関と協議していきたい。



## 旧小学校の跡地利用で町内の活性化を

### 有効活用を図りたい

**問** 現在、旧小学校の校庭は、さまざまに活用している。しかし、校舎内での活動はないかと思う。何か事業が始まるまでは、活用すべきかと思う。

**町長** 旧小学校施設については、町有財産、つまりは町民の皆さんの財産なので、有効活用を図っていききたい。提言については、一時的な利用といえども、相応の費用が見込まれるので、今後の検討課題と考えている。

例えば、浅川町を拠点に活動された、石工の小松寅吉さんの作品の写真展示や、町内の様々な活動の展示、小貫のミイラの写真や物語の展示、本町出身者で活躍している方の、現在の活動状況の案内や応援など、できるかと思う。町内の再発見や活性化、観光案内にもなると思うが伺う。

# 新型コロナ禍で成人式を どう開催するのか

## オンライン開催も考えている



須藤浩二議員

**問** ①現在65歳以上の接種が行われているが、今後の接種スケジュールはどの様になっているのか。

②今回の65歳以上の接種で発生した問題点や改善点はどの様なものがあったのか。  
③再延期となった成人式を今後どの様な方法で開催するのか。

**町長** ①1回目が5月20～26日、2回目が6月10日～16日までとなっております。前回の予約から外れてしまった方も7月23日に終了する予定です。  
②電話がつながりにくく保健センターに直接

予約に予想以上の方が訪れや密な環境になってしまった。早急に医師と協議し1日に予約できる人数を増やし予備日程を追加した。

**社会教育課長** ③県外在住の方もおり9月から10月の三連休の中日がベターかと考えている。更なる延期は考えずオンラインや出席者を限定するなどで開催したい。



— 昨年の成人式

# 町施設更新のための 財政計画を作るべき

## 道筋を示すためにも作成したい

**問** ①2月に開催された「議会全員協議会」で、中学校の校舎新築について説明された。町は安心安全な学びの場を早急に整備すべきと思うが町長の考えは。

②現在の財政では老朽

化した町施設を何ひとつ更新できる状態ではないのではないか。きちんとした財政計画を作成するべきと思うが町長の考えは。

③町有地の有効利用を考える「浅川町町有地活用審議会」の構成メンバーと直近の開催日時と審議の内容はどのようなものだったのか。  
④現在は役場庁舎等建設基金はいくらあるのか。

**教育長** ①2月に開かれた全員協議会で説明したが、構造上危険な

状態であると診断された中学校の建設を優先して事業を進めていく考えである。

**町長** ②老朽化施設を更新する道筋を示すためにも、財政計画を今後作成したい。

③各地域から7名委嘱しており、直近の開催は昨年の11月27日。内容は町所有の旧大平病院跡地のグループホームを利用目的とした賃貸借に関するもので、特に問題はないとの答申を受けた。

**総務課長** ④5億円ほど。



# 令和3年産米価の下落 見込みに対する対策は



兼子長一議員

## 主食用米以外へ転換を推進する

**問** コロナ禍などにより令和2年産主食用米の在庫が減らない状況である。今年の米価が大幅に下落すると見込まれている。稲作農家への経営支援対策を伺う。

①経営所得安定対策相談会における飼料用米、加工用米、WCS用稲の作付面積は、町の目標を達成できるのか。

②米価下落対策に向けて県や農協との取り組み内容は。

③町は以前より飼料用米1袋1千円を助成しているが、増額し加工用米、WCS稲にも対策をすべき。

**町長** ①飼料用米目標38鈴に対し96・2鈴、加工用米目標1・8鈴に対し1・8鈴、WCS用稲目標2・2鈴に対し1・6鈴となっており、飼料用米は目標面積を上回っている。

②国の方針として非主食用米などへの転換を推進している。県や町においても農協と連携し相談会で話しをしていきたい。

③町は独自に飼料用米1袋1千円、加工用米1袋1千円、振興作物10㍓2千500円、飼料作物10㍓2千500円の助成をしている。これ以上の増額は難しい。



## 役場行政組織の見直しは

### 来年4月を目標に調査 検討を進める

**問** 令和3年3月議会において、町長は「役場組織の機構改革は、昨今の状況を踏まえ事務事業の在り方を整理するなど速やかに取り組む」と答弁したが現在の状況について伺う。

①組織見直しに向けて事務事業整理の取り組みを始めたのか。

②取り組みを始めたのであれば組織見直しの実施時期、作業体制の内容は。

**町長** ①本年4月に、各課若手職員による「浅川町機構改革検討委員会」を設置し調査・検討を始めた。

②実施時期は、来年4月を目標に作業をしている。社会情勢の変化や住民の利便を考慮した組織について調査・検討を進め、庁内手続きを経て成案を得たら今後関係条例等を議会に提案したい。

# 城山を中心に地元にある 観光資源の利活用を



岡部宗寿議員

## 城山は開発行為はできない

**問** ①3月議会で城山は山全体が埋蔵文化財包蔵地に指定されているため調査目的以外の掘削や構造物の設置などが厳しく規制されているとの答弁だったが、キャンプ場を利用していいのか、またトイレ、水洗場ができるのか調べたのか。県の回答はどうだったのか伺う。

**町長** ①前回の3月議会でも説明したとおり、城山は山全体が埋蔵文化財包蔵地となっているため、文化財保護法により規制されており、また、城山は1級保安林に指定されており、開発行為はできないとのことだ。城山山頂でキャンプをすることは、基本的なルールを守っていたらいい、特に禁止していない。

②イベント的なものを含め、保存会と協議し、より多くの皆様に知っていただけるようPRをしていく。

**問** これまで町長も議員の頃に質問し、何人かの議員も質問しているが、全くできないのはなぜか。公安委員会と警察とかの関連もあるだろうし、地権者からその土地を買わなくてはならないということも分かる。町長がいとも言うっているスピードを持って、一日も早く横断歩道の設置を。

**町長** 町道大名大塚簗輪線と坂ノ前山敷田線交差点付近の横断歩道の設置については、通学路合同点検時に、管理者である石川警察署へ要望している。令和2年度に測量設計業務を行った。令和3年度に、用地取得のための予算を計上、順調に進めば令和4年度に工事を実施したい。横断歩

# こども園のT字路の 横断歩道の設置は

## 令和4年度完成を要望する

道の設置については、歩道の完成と同時に設置していただけるよう、公安委員会の交差点協議と横断歩道設置要望をする予定である。



こども園近くのT字路

# 松野入内畑地内町道防護柵改修と水路の布設替えを



会田哲男議員

## 今年度柵の改修と工事を発注予定

**問** ①松野入内畑地内の町道の防護柵の改修と用水路の布設替えについては、昨年の6月議会でも質問したが、町の答弁は水路工事と併せて柵を改修する計画で設計委託を準備しており、なるべく早く実施するとの答弁だった。

その後1年が経過し、早急な改修が必要だ。現在の改修の進捗はどうなっているか。

また、工事はいつ実施の予定か。更に完了するのはいつか。

**町長** 令和2年度に測量設計業務を委託し、これまで地元関係者との打合せを2回実施した。

今年度実施する工事は、老朽化して危険な柵の改修工事、老朽化した水道管と消火栓の更新工事を予定しており、10月を目途に発注する予定である。

なお、令和4年度には水路布設替工事と舗装工事を実施したい。

**建設水道課長** 水路の位置ですが、今宅地内を通っている水路を道路の真ん中辺りに設置する考えで、令和4年度に完成したい。

## 県道埜泉崎線の風口前 十字路の見通し改善を 当面木の伐採と草刈りで 対応する

**問** 県道埜泉崎線、風口前の点滅信号のある十字路は、棚倉方面からの直進、右左折共に左側のカーブの法面により、見通しが非常に悪く危険であり、人命にかかわる事故も起り得る危険力所となっている。

これの回避のために、県道の法面を切り、見通しを良くするための、法面改善の工事をすべきと思うが、町の考えと取り組みについて伺う。

**町長** 特に左側の根岸方面からの見通しが悪く、県道法面が原因の一つと考えているが、近年、法面に草木が繁茂してきており、これも原因の一つと考えている。

見通し改善のため、石川土木事務所にて樹木伐採と法面草刈りの要望をした。法面の改善工事については、上に畑があり、所有者のご協力が不可欠である。改善工事は今後も県と相談していきたいと思っ

ているが、当面は木の伐採と草刈りで、見通



左側（仁公儀）からの見通しが悪い交差点

# 町活性化推進に伴う職員研修(スキルアップ)は

## 人材育成方針に沿って取り組む



木田治喜議員

**問** 現代社会のコロナを含めた急速な変化に対応するため、そして町民満足度を高め、活気ある行政であり続けるためには、研修・教育による人材育成は町活性化推進にも必要不可欠と考えるが、町の施策について伺う。

**町長** ①平成23年度4名、24年度4名、25年度5名、26年度3名、27年度5名、28年度6名、29年度6名、30年度5名、令和元年度0、令和2年度8名の合計46名で、退職者は6名となっている。

②行動指針は、人材育成基本方針の中に7項目を定めている。

③平成16年12月に人材育成方針を定めた。

④地方公務員法第39条に基づき職場内研修等に努めている。

⑤県の自治研修センターにおいて新採用、勤務年数に応じた各種研修をしている。

**問** 令和3年9月にデジタル庁創設が決定した。コロナ禍で見えてきた複数の不具合、解決すべき課題が多数あることが顕在化した中で、国と地方の連携強化が尚一層必要な行政のデジタル化推進に向けて町の基礎的環境を伺う。

**町長** ①パソコン300台、小中学校用タブレット541台、コピー機14台、プリンター46台、印刷機9台である。

②総印刷枚数約330万枚、総費用は443万円となっている。

③行政サービスについてデジタル技術やデータを活用し、町民生活をより良い方向に変化させることと理解している。

④研修や日々の業務の

パソコン300台等である

行政デジタル化に向けた基礎的環境は

向上の取組について。

⑤IT課の新設を含めた組織改編を目指すか。

⑤機構改革検討委員会で検討する。



# 町有地大平病院跡地へのグループホーム設置の促進を



角田 勝議員

## 契約の内容を詰めていく

**問**

町から説明があつた石川町にある「クローバー」による地域密着型グループホームの設置はうれしいことだが、

その後どのようなふうになっているのか。台風による大水被害で「ふくじゅそう」が撤退し、元の入所者や希望者などから「町にもぜひ施設がほしい」との声がよせられている。身近な所であれば大いに助かることは明らか。一日も早く実現するよう願っている。

①その後の経過どうなっているのか。

②あの土地は不適當との声もあるとのこと、町有地活用として問題

あるのか。

③一日も早く設置できるようにすべき。

**町長**

①事業者から用地境界確認と新区長や周辺住民への説明が終了したと報告を受けており、今後、契約の内容を詰めていきたい。

②法令等の制限や許認可など、特に問題はな

いものと理解している。

③事業者と協議して

**総務課長**

事業者は、有限会社クローバーで、規模は1千㎡を利用したいということなので1ユニット（9人）になると思われる。



大平病院跡地

## 農家へのコロナ被害対策 具体化し支援をすべき

### 農業も対象の事業者支援を行っている

**問**

町の基幹産業である農業も大変厳しい状況だ。学校や飲食関連産業の休みや自粛と時間制限などによる影響

をすること。

②くらしが厳しい人々への飯米支給をするこ

と。

③町の農機具購入補助を全農家対象とするこ

と。

**町長** ①現在、令和2年の事業収入が減少した事業者を対象に、事業者支援金の交付を行っている。農業も対象となっているので、これとは別な米農家のみを対象にした助成は考えていない。

②地産地消の推進と生

活弱者への支援を図るため、何か効率的な取り組みができないか、農協など関係機関と協議していきたい。

③農機具購入の助成は町単独の予算で行っている。対象をすべての農業者に広げるとは、1件あたりの助成額も大きいため、財源的に難しく、今のところ考えていない。

①米価への上積み補償と考える。

町単独でも支援すべきと考える。

# 入札の最低制限価格見直し 税金を有効に使うべき

## 建設業のためにも活用する



上野信直議員

**問** 浅川町は3年前から入札における最低制限価格制度を導入した。私は3月議会で、町の財源確保の見地からこれを見直すべきだと質問した。その際あげた実例は昨年12月の防災備蓄倉庫の入札で、この制度のため一番安い札を入れた業者が失格となり、60万円高い工事費になったというものだった。ところが3月議会終了後の3月22日に行われた公共下水道工事の入札で2200万円の業者が失格となり、2600万円の業者が落札した。この制度のため消費税を払って440万円もの血



税が無駄になった。制度の見直しを求める。

**町長** ①この制度の趣旨は、低価格による受注を防止し、工事の品質を確保すること、作業員の労働条件の悪化や安全管理の不徹底を防ぐこと、建設業の健全な事業継続などが考えられる。最低制限価格未滿での請負は、その分どこかに影響が出ると思う。今後も建設業の健全な事業継続のためにも、指名競争入札においてこの制度を活用したい。

# 県統一保険料化で国保税 が上がるらないよう国県に 対応を求めよ

## 県に働きかけていきたい

**問** 国保税は令和11年度から県内どの市町村も同じ負担率になる県統一保険料が実施されることになっており、すでに市町村間の国保税の格差を縮める取り組みが始まっている。統一保険料は「国保を県全体で支え合い、市町村間の不公平感をなくす」という理由で実施されるが、県内では低い浅川町の国保税が、このために大幅に上がると思われる。こうした理由で町民の負担が

増えるのは納得できない。町長は、そうならないよう国や県に強く働きかけるべきではないか。

騰にならないよう、残りの基金を効率的に使えるよう検討していきたい。また、統一保険料化については市町村国保運営安定化等連携会議でさまざまな協議がなされるが、町村会を通し意見や要望を出し、県に働きかけていきたい。

**町長** 県統一保険料率となる令和11年度までは8年あるが、現在の保険料よりは高くなるのではないかと見込んでいます。県統一保険料率の意義は上野議員の言う通りで、保険料率が高くなると想定されることについては非常に胸が痛い。急激な高

# 県道浅川古殿線の道路改良を



金成英起議員

## 県に要望していく

**問** 県道浅川古殿線は、沿線住民の重要な生活路線である。宿坂の急角度カーブとその先の小野久保の急斜面カーブの2箇所はカーブが急で、大型車両との交差の時など大変危険である。また歩道設置もなく、早急に道路改良対策を県に強く求めるべきではないか。町長の見解を伺う。

**町長** 県道浅川古殿線、宿坂地内の急カーブと小野久保地内の急勾配のカーブだが、根本的な改良対策となると地形的に大規模な改良工事が必要と思われるが、県に歩道の設置を含めて、各種要望を行っていく。



小野久保地内の急勾配カーブ

## 町道の外側線引き直し 改修を

### 予算の範囲内で実施している

**問** 町道の外側線が消えて無くなり、そのため大変危険である。早急に外側線の引き直しをすべきではないか。住民の方からの要望で、字畑田集会所前から、字中ノ町上畑田までの外側線の引き直し改修工事をして欲しい。町長の見解を伺う。

**町長** 町道の外側線等の引き直し修繕については、毎年、予算の範囲内で実施している。道路パトロールでの調査や行政区要望を現地確認し、修繕箇所を決定している。今年度も一部区間の修繕を行いたいと考えている。

# 古里 写真館

Vol.17  
Photograph

## 交流のページ

— お願い —

古里の写真をお持ちの方は、ぜひご連絡下さい。誌上でご紹介させていただきます。

浅川町議会事務局 36-11182



昭和50年8月16日に開催されたミス浅川による町内パレード風景  
写真の久保木さん提供



昭和54年8月16日花火打上現場に移動する大からくり／写真の久保木さん提供



# レポート 追跡

あの提言はどうなってるの？

## 河川改修と堆砂除去を 県に強く求めよ



令和2年3月定例会

答

殿川については令和2年度までに完了する。

問

堆砂除去を県に強く要望すべき。

## コロナ対応事業第3次分 町民1人につき5千円分の商品券配布



小規模店専用券 5枚  
Small Store Limited



大・小規模共通券 5枚  
Large&Small Store Limited

5,000円分  
(1セット500円券×10枚)

令和3年3月定例会

答

町民1人につき5千円分の商品券に。

問

去年はコロナ対策として1人あたり5千円現金給付したが今回の給付は。



浅川中学校生徒会長

## 岡田 愛 桜 さん

# 全校生一人一人が 居心地のよいと思える 学校を目指して

私たち、浅川中学生徒会は主に行事の運営やあいさつ運動などを学校の中心として行っています。あいさつ運動は毎朝行い、登校してくる生徒にあいさつをします。あいさつは、学校生活だけでなく、将来の社会生活でも使うものなので、今のうちから定着させていきたいと思っています。その他にも生徒会総会というものがあります。各専門委員長や各活動部長、生徒会執行部が中心となって全校生で話し合いをする場となっています。全校生が一つ一つの問題に目を向けて討論したり、疑問を解決したりすることで一人一人が浅川中の一員だと改めて自覚することができると思っています。



毎朝登校してくる生徒にあいさつをしています

て活動を進めています。学校祭は一年で最も大きい行事ともいえるので、生徒会が学年やクラスを超えて団結して活動に取り組んでいきます。生徒会としても一番力が入る行事なので、どのような形で開催されるとしても、全校生徒が感動と達成感で満たされるような学校祭にしたいです。

私は、これから浅川中学校をもっと活気のあふれる学校にしたいです。また、全校生一人一人が居心地のよいと思える学校になってほしいです。そのためにも、時代の流れに合わせた学校づくりももちろんですが、先輩方が受け継いできた伝統を次の年代へと受け継いでいけるようにしたいと思っています。そして、浅川中学校をよりよい学校となるように努めていきます。

暑中お見舞い申し上げます。

このたび浅川町議会が福島県町村議会議長会より、優良議会として表彰されました。全議員での視察研修や一般質問の活発な議論などの議会活動が認められたことだと思います。

これもひとえに町民の皆様のご協力とご支援の賜物であります。これを励みとして、より良い議会だより作りに努めてまいります。 兼子長一



広報特別委員会 / 上野信直 水野秀一 渡辺幸雄 会田哲男 兼子長一 菅野朝興

### 編集後記